

イネカメムシの防除対策

【イネカメムシの特徴】

- ・斑点米カメムシ類の1種で、体長約13mm、黄褐色
- ・イネの穂を加害し、不稔や斑点米を引き起こす
- ・若い穂を好むためイネの出穂期に多数が侵入する
- ・出穂期の3～4週間後頃まで加害し、出穂期の遅い水田へ移動する
- ・イネに対する選好性が強いが、イネ科雑草の穂も吸汁する
- ・田植時期が早い地域では越冬地から直接水田に飛来する場合も多いが、田植時期が遅い地域では7月下旬にかけ休耕地や畦畔のイネ科雑草を餌として利用する



不稔を回避するためには、
出穂期～穂揃期の防除が重要

【イネカメムシの防除対策】

対策① 出穂期～登熟初期の薬剤防除（2回）

- ・虫がイネを加害する出穂期～登熟初期に2回の薬剤散布を行う。
1回目：出穂期～穂揃期（不稔の防止）
2回目：出穂期の8～14日後（斑点米の防止）
- ・ジノテフラン剤、エチプロール剤が有効とされるため、裏面を参考に薬剤を選択。
- ・粒剤を施用する場合は、処理を数日早める。
- ・薬液が直接虫にかかるように、薬剤散布はなるべく早朝に実施する。



←→ 1回目防除 ←.....→ 2回目防除

品種	4月		5月		6月			7月			8月			9月	
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	
コシヒカリ	田植								←→			←.....→			
彩のきずな えみほころ			田植						←→			←.....→			
彩のかがやき			田植						←→			←.....→			
					田植							←→			←.....→

対策② 休耕地、雑草地、畦畔等の管理

- ・休耕地、雑草地、畦畔等のイネ科雑草は、栽培期間中であっても、成虫・幼虫の餌資源となるため、継続的な管理が必要である。
- ・主に8月下旬から9月中旬にかけ、イネの成熟期が近づき籾が黄化・硬化すると餌として利用しやすいイネ科雑草に移動する。

対策③ 収穫後の耕うん

- ・収穫後の再生株（ひこばえ）が秋の成虫・幼虫の餌資源となる。虫の越冬率を高める恐れがあるため、収穫後は速やかに耕うんして株を埋没させる。
- ・成虫が越冬場所に移動する前（10月上旬頃）までに耕起することが望ましい。ヒメトビウンカの対策としても有効。

【広域防除の実施について】

- ・イネカメムシは、餌となる若い穂を求めて水田から水田に移動することから、被害を軽減するためには、無人航空機等を使用して広域的に一斉防除することが効果的
- ・住宅地等が近い場合などは、農薬が飛散しないよう細心の注意を



ドローンによる防除の様子

今年度も越冬成虫が確認されており、引き続き、注意、警戒が必要

【イネカメムシの越冬場所】

- ・冬の季節風が当たりにくく、南側や西側に開けていて陽だまりになりやすい場所
- ・落ち葉が堆積しており、乾燥しておらず適度な湿度が保たれている場所
- ・表土が柔らかかったり、堆積物や落ち葉の腐植化が進んでいて膨軟な場所
- ・厳冬期でも緑色の葉をつけているイネ科雑草の株元やジャノヒゲの株内
- ・耕地や堤防などの開けている場所よりも、北側や東側に構造物や林がある場所

【イネカメムシの防除薬剤例】

令和8年4月8日現在の農薬登録状況

商品名（有効成分）	IRAC	散布方法	倍数・散布量	使用回数・時期
キラップフロアブル （エチプロール）	2B	散布	1,000～2,000倍	収穫14日前まで 2回以内 *1
		無人ヘリによる散布	8～16倍	
スタークル液剤10 （ジノテフラン）	4A	散布	1,000倍	収穫7日前まで 3回以内 *2
		無人航空機による散布	8倍	
エクシードフロアブル （スルホキサフロル）	4C	散布	2,000倍	収穫7日前まで 3回以内
		無人航空機による散布	16倍	
トレボン乳剤 （エトフェンプロックス）	3A	散布	2,000倍	収穫14日前まで 3回以内
キラップ粒剤 （エチプロール）	2B	湛水散布	3kg/10a	収穫14日前まで 2回以内 *1
スタークル豆つぶ （ジノテフラン）	4A	散布	250g/10a	収穫7日前まで 3回以内 *2

*1「キラップフロアブル」「キラップ粒剤」は同一成分であるため、連用は避ける。

*2「スタークル液剤10」「スタークル豆つぶ」はそれぞれ総使用回数は3回以内だが、共通の有効成分（ジノテフラン）の総使用回数は4回以内であるため、使用回数に注意。また同一成分であるため、連用は避ける。

・農薬はラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法を十分確認の上、最終有効年月までに使用する。

・農薬の使用に際しては次のホームページで確認する。農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)

イネカメムシ防除に係る御相談は、お近くの県農林振興センターか発行元のいずれかに御連絡ください。連絡先は、右の二次元コードから御確認ください。

